

デジタルアーカイブ学会第 10 回研究大会

企画セッション

「デジタルアーカイブ推進基本法は現場とアーカイブ支援をどう変えるか」

「この国のデジタルアーカイブには、常に**ヒト・予算・権利**の三つの壁がある」
 「活動は個人の情熱に依存して孤立し、政府には十分な**推進母体**も横断的な**支援プラン**もない」
「だから、デジタルアーカイブ推進基本法を作ろう」
 それがデジタルアーカイブ学会を立ち上げたメンバーの思いでした。

推進基本法の議論は 2017 年の学会立上げと共に高まりますが、諸情勢から足踏みを余儀なくされます。しかしこの間に国の取組も進み、学会でも二度の政策提言で常に推進基本法への声を政府・議員に届けて来ました。

そして今再び、推進基本法の成立に向けた熱気が高まっています。**実現すれば各種のデジタルアーカイブ活動への支援や連携は、飛躍的に高まる可能性があります。**

もっとも推進「基本」法ですから、推進母体の顔ぶれや推進計画の内容が重要です。
与野党の国会議員や各現場の第一人者など、キーパーソンを招き法成立に向けた議論を展開します。

■ パネルディスカッション登壇者（敬称略・50 音順）

赤松 健（参議院議員）
 石川 和子（日本動画協会理事長・DAPCON 会長）
 黒橋 禎夫（国立情報学研究所所長・デジタルアーカイブ学会会長）
 穴戸 常寿（東京大学大学院法学政治学研究科教授）
 森 いづみ（県立長野図書館館長）
 笠 浩史（衆議院議員）
 司会：福井 健策（弁護士・デジタルアーカイブ学会副会長・同法制度部会長）
 ■ 来賓挨拶 中原 裕彦（内閣府知的財産戦略推進事務局長）

特別報告「デジタルアーカイブ推進基本法に向けた最新動向」

企画セッションを踏まえ、デジタルアーカイブ推進基本法の成立に向けた現在地と目指すところを解説します。

吉見 俊哉（國學院大学観光まちづくり学部教授・東京大学名誉教授・デジタルアーカイブ学会前会長）
 福井 健策（弁護士・デジタルアーカイブ学会副会長・同法制度部会長）

日
時

2026 年 1 月 9 日（金）

企画セッション：10:30～12:00 特別報告：13:40～13:55
（1 階特別会議室） （2 階講堂）場
所

一橋講堂（千代田区一ツ橋 2-1-2）

<https://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html>東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅
（A8・A9 出口）徒歩 4 分

東京メトロ東西線 竹橋駅（1b 出口）徒歩 4 分

特別報告のあと続けて「オープニングアクト AI for DA / DA for AI」があります。デジタルアーカイブをサポートできる存在としての AI、AI に良い影響を与えられる存在としてのデジタルアーカイブ。この両面から、現状を共有しつつ、将来像や夢を語ります。

申込方法

デジタルアーカイブ学会第 10 回研究大会（<https://taikai.digitalarchivejapan.org/10th/>）への参加登録をお願いします。参加登録は Peatix から

<https://digitalarchive10.peatix.com>

参加費

正会員¥6,000 学生会員¥2,000 賛助会員¥6,000 非会員¥8,000
 交流会（参加費とは別購入必要あり）¥2,000

